



令和2年5月16日発行  
熊本県立湧心館高等学校

## テーマ「災害への備え」

### 「わたしと防災」

私は湧心館高校に勤務して5年目です。赴任してすぐの4月に熊本地震が起きました。書類の整理や授業の準備を済ませて、午後9時ごろに帰宅中の車の中で前震が起きました。すぐに車を停めて揺れが収まるのを待ち、家族に電話したのを今でも覚えています。とても怖く、心細かったです。そのときと今を比較して5月のテーマ「災害への備え」を考えました。

### 「災害と備え」

テーマ「災害への備え」を見たときに災害ってなに？どんな備えが必要？などいろいろなことを考えました。インターネットで検索してみると次のように紹介されていました。

災害：自然現象や人為的な原因によって、人命や社会生活に被害が生じる事態を指す  
(フリー百科事典「ウィキペディア (Wikipedia)」より)

備え：あらかじめしておく用意。準備。(Weblio 辞書より)

### 「場面と備え」

どのような場面で、どのような備えが必要でしょうか。

下の□にチェックしながら災害時にどうすればいいか家族で確認しましょう。

(場面A) 自宅

- 家具の置き方
- 食料、飲料などの備蓄
- 非常用持ち出しバッグの準備
- 家族同士の安否確認の方法
- 避難場所や避難経路の確認
- もしものときの情報収集方法



(首相官邸ホームページ <https://www.kantei.go.jp/> 防災の手引きより)

(場面B) 学校、勤務先

- 初期避難
- 避難経路の確認
- 消火器、消火栓、AED の位置や使い方
- 応急処置の仕方
- 帰宅方法の確認
- 帰宅経路の情報収集



(場面C) 登校、通勤など自宅外

- 帰宅経路の確認
- 家族、自宅、学校、勤務先などへの連絡方法
- 防災放送、防災無線の確認



## 「非常時、防災対策に有効な情報(熊本県)」

- \* 熊本県防災情報ホームページ (<http://cyber.pref.kumamoto.jp/bousai/>)
- \* 熊本県統合型防災情報ホームページ (<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>)
- \* 熊本県防災ハンドブック 今やろう 熊本地震・九州北部豪雨から学んだこと (<http://cyber.pref.kumamoto.jp/bousai/handbook/index.html>)

## 「湧心館高校のホームページ紹介」

湧心館高校のホームページ (<https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>)では、各課程(全日制、定時制、通信制)からのお知らせや学校の生活の様子、過去のぼうさい通信(「トップページ」→「メニュー(ぼうさい通信)」→「ぼうさい通信一覧」)などを見ることができます。(右のQRコードからアクセスできます)



## 「今できること」

本校では5月31日(日)までの熊本県教育委員会の通知により臨時休業(休校)が延長されました。通信制は6月1日(月)までです。不要不急の外出を避け、不特定多数の人と接触機会がないように努めてください。新型コロナウイルスの影響で、3月にはマスクが、現在ではアルコール消毒液などが手に入りにくくなっています。状況が落ち着いたら非常用持ち出しバックなどにそれらも加える必要があります。



## 「お知らせ」

4月14日(火)に本校ホームページに「保健部より(全日制、定時制、通信制)」と題して、手作りマスクの作り方を紹介しています。感染を予防し、拡大を防ぐためにマスクの着用をお願いします。



## 「災害への備えをふり返って」

4年前の熊本地震、現在の新型コロナウイルスなど、災害は突然起こります。災害が起こるとライフライン(水道、電気、ガス、交通、情報)が分断され、必要だと感じたときに手元になかったり、すぐに利用できなくなったりします。自宅でも機会を捉えて、災害への備えを確認したり、見直したりしたいものです。有事の際の最低限の備えをしておきましょう。

【文責 全日制防災担当】